

令和6年 救急概要

- ・救急出動件数は、49,311件、前年と比較すると1,378件の増加。
- ・搬送人員は、44,783人、前年と比較すると1,143人の増加。
- ・救急車は、1日平均135件、約10.7分に1件出動。

1 出動件数の6割以上が急病

事故種別ごとの出動件数は、急病が33,729件(68.40%)、一般負傷が7,355件(14.92%)、交通事故が2,763件(5.60%)となっており、急病が出動件数全体の6割以上を占めています。

2 搬送者の6割以上が高齢者

年齢区分別の搬送人員は、65歳以上の高齢者が30,296人(67.65%)、満18歳以上65歳未満の成人が11,949人(26.68%)となっており、高齢者が搬送人員全体の6割以上を占めています。

3 搬送人員の4割以上が軽症

傷病程度別の搬送人員は、軽症が19,379人(43.27%)、中等症が23,071人(51.52%)、重症以上が2,333人(5.21%)となっており、軽症が搬送人員全体の4割以上を占めています。

4 消防救急広域化市町別出動件数

市町別	令和6年	令和5年	増減数
静岡市	41,247	39,873	+1,374
島田市	4,550	4,522	+28
牧之原市	2,010	2,053	-43
吉田町	1,062	1,063	-1
川根本町	371	378	-7
行政管轄外	71	44	+27
合計	49,311	47,933	+1,378